

令和5年1月11日



光が丘第二中学校 学校だより

TEL 3976-9202 FAX 5383-3608

<https://www.nerima-ky.ed.jp/hikarigaoka2-j/>



新しい年を迎えて

校長 山田 美鈴

新年明けましておめでとうございます。

令和3年の1年間を表す漢字一文字を私は「祈」という字にして学校便りに掲載していました。まさにコロナウイルス感染が終息するようにと祈る日々を過ごしましたが、心配なことはそればかりではありません。令和4年はコロナウイルスにどう向き合うか？教育活動を精査しつつ学びを止めずに発展させていくための方策を、生徒の意見も反映させながら進めてまいりました。

さて令和5年がすでにスタートしました。今年の干支は「卯年」。うさぎにあやかってさらなる飛躍の年にしていきたいと決意しております。

うさぎといえば「うさぎと亀」の童話があります。この童話は山の頂上を目指して足の速いうさぎとゆっくり歩く亀が競争し、うさぎが途中油断をして昼寝をしたため、亀に負けてしまうというあらすじになっています。内容からいってうさぎが悪者のような印象がありますが、うさぎの反省すべき点は油断してしまったことのみであり、飛び跳ねるスピード感や亀の挑戦を受けて立ち、目標をもって臨む点は評価できると感じます。何よりうさぎは後ろへは戻りません。うさぎであろうと亀であろうとそれぞれがもつ良さを認め合い励まし合い、頂点を目指そうとすることそのものを讃えていくべきだと、私はこの物語を捉えています。

人にもそれぞれタイプがあります。亀のようにゆっくりでも、慎重に物事を進めていく堅実派。うさぎのようにスピード感ある存在は、行動力があると評価されます。

つまりは物事の枠組みを別の見方で捉える「リフレーミング」という捉え方が大切です。誰しも欠点がありますが、それを追求ばかりしてしまうと苦しくなります。欠点を長所に変えていけるようなおおらかな見方・考え方ができる度量を身に付けていきたいと感じます。

中学生はいわば大人の階段を必死に登っている最中です。その挑戦する姿勢を讃え、少々ゆっくりであろうとつまずきそうになろうと、エールを送り続ける大人たちに囲まれることで勇気や自信が身に付いていきます。

私の今年1年の漢字は「躍」にします！躍動、活躍、躍進の「躍」勢いよく跳ぶうさぎのイメージを持ちながら、今年も頑張ってまいります。なにとぞよろしくお願い申し上げます。

～ 生徒の活躍 ～

- ・令和4年 税の作文コンクール 法人会長賞 3年女子
- ・板橋区民文化祭小倉百人一首大会
 - 上級 優勝 1年女子
 - 初級 優勝 2年女子
 - 準優勝 1年女子
 - 第3位 2年女子
- ・令和4年 練馬区明るい選挙ポスターコンクール 入選 2年男子
- ・令和4年 自分で作る朝ごはんコンクール
 - 銅賞 1年女子
 - 奨励賞 " 5名
- ・令和4年度 ジュニアリーダー養成講習会 修了 3年女子

(家庭配布用は生徒名を掲載しています)

<算数リルティチャーの活動> 令和4年12月8日(木)

1,2年生が光が丘春の風小学校の児童に算数リルティチャーとして学習補助を行ないました。小中連携の一貫として行なっている活動で、参加した生徒には参加証を配布しました。



<席書大会> 令和5年1月5日(木)



本校書道文芸部の代表が、日本武道館で行なわれた全日本席書大会に参加しました！静寂な空気の中で堂々と書き上げていました。

<かるた競技大会> 令和5年1月7日(土)



本校競技かるた部員が、阿佐ヶ谷神明宮で行なわれたかるた競技大会に参加しました。新年の幕開けにふさわしい行事に参加することができ、皆頑張っていました。

本校生徒が書いた百人一首大会スローガン →

(校内百人一首大会は1月14日(土)に行ないます。)

